

赤井 一人

未だ暁。無限に続く透明のキャンバス。

白い絵の具で世界を満たそう。光り輝く正しい世界。
それは、そこに、そう。

ぽつりぽつり、ぽつりぽつりと、黒い雨粒が。

緩やかに穏やかに、湧き出るように染み出るように。

ぽつりぽつり、ぽつりぽつりと、黒い雨粒は。

白が唸って飲み込んだ。世界は唸って飲み込んだ。白が唸って黒を飲み込む。
そこは再び輝く世界。

雨は尚も降り注ぎ、白い波が渦を巻く。

白が黒を飲み込んで、そこは再び輝く世界。

鈍く輝く歪んだ世界。

輝きは二度と戻らない。白を足しても戻らない。
だから足そう。

青に緑に黄色に紫。混ぜり混ぜって世界は変わる。

青に緑に黄色に紫。混ぜり混ぜって行き着く先は。

——赤があふれる。

破り捨てたキャンバスを、
流れる赤が覆い隠す。
輝く赤が全てを飲み込む。

それは救いだっただ。

瞳を閉じればそこは闇。
最後はいつも黒い世界。